

## 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2013年に入り、邦人居住区であるサンティアゴ東部地区の住居に対する窃盗事件が増加している。検察庁の犯罪統計によると、特に住居に対する強窃盗事件の増加が顕著で、他の地区では減少しているものの、サンティアゴ東部地区に限っては第1四半期で前年比22%増加したと発表され、これらの犯罪により検挙された殆どは未成年であるとしている。

また、現金等輸送車の襲撃事件も急増しており、今年に入って既に8件の発生を数えている。これらを含むけん銃使用の強盗事件等の凶悪事件は毎日のように発生しており、一般市民が巻き込まれ死亡した事案も発生した。

更に、アナーキストによる爆弾事件とは別に、爆弾を使用してATM機を破壊の上、ATM機内の現金を強取する手口の事件が急増している。

なお、当館における邦人被害事案の認知も6ヶ月で25件にのぼり、既に昨年の22件を上回る状況となっている。

## 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 4月1日(月)3時頃、サンティアゴ市ロ・バルネチェア区の民家において強盗事件が発生した。強盗犯3名が侵入し、居合わせた家人を緊縛の上、現金1億ペソ及び車両2台を奪って逃走した。

(2) 4月7日(日)21時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区の最高裁判所職員方において強盗事件が発生した。強盗犯3名が侵入し、家人を脅した上、1千万ペソ相当の貴金属類等を奪って逃走した。

(3) 4月12日(金)17時40分頃、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在の駐車場において強盗事件が発生した。ペルー人男性が付近の銀行で現金約百万ペソを引き出し、立体駐車場に戻ったところ4名の強盗犯に襲撃され、抵抗したことからけん銃で3発の銃弾を受けた。強盗犯は警察官が駆け付けたことで暫く駐車場内に立て籠もったが、後に逃走した。

(4) 4月19日(金)9時頃、サンティアゴ市サン・ミゲル区の路上において現金等輸送車が襲撃された。警備員4名が降車し、パン屋に買い物に入った隙に、強盗犯3名が輸送車に残っていた警備員をけん銃で脅し、輸送車ごと現金40億ペソ近くを奪い、2ブロック先に輸送車を放置して逃走した。

(5) 4月21日(日)23時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在の一軒家において強盗事件が発生した。強盗犯4名が2階の窓から侵入し、ドライバーで家人を脅したが、家人が抵抗、クローゼットに隠れていた母親が警察に通報し、2名を逮捕、残る2名は逃走した。

(6) 4月23日(火)13時30分頃、サンティアゴ市エル・ボスケ区に所在のスーパーにおいて現金等輸送車が襲撃された。強盗犯4名がけん銃等で警備員を脅し他が、警備員がこれにけん銃で応戦、犯人1名が死亡、警備員2名が負傷、その他の犯人は現場から逃走した。

(7) 4月29日(月)20時30分頃、サンティアゴ市マイプ区に所在のピザ店において強盗事件が発生した。強盗犯3人組が店内に押し入り、けん銃で店員や客を脅し、40万ペソや宝石類、携帯電話等を奪って逃走したが、通報により検索中の警察官が逃走車両を発見し、犯人を逮捕した。

(8) 5月3日(金)1時頃、サンティアゴ市エスタシオン・セントラル区に所在のショッピングモールにおいて、現金等輸送車が襲撃された。強盗犯が輸送車に対してガソリンを撒き、車内で待機中の運転手を脅してモール裏側に移動させ、輸送車内に保管していた3億ペソの現金を奪って逃走した。

(9) 5月15日(水)22時30分頃、サンティアゴ市サンティアゴ区のピザ店において強盗事件が発生した。強盗犯3人組が店内に侵入、けん銃で店員や客を脅し、60万ペソを奪って逃走した。その際、店内に居合わせた警察官が応戦し、銃撃戦となり、警察官及び同人の子供が銃弾を受け負傷した。

(10) 5月17日(金)14時頃、サンティアゴ市ラ・システルナ区に所在の銀行において強盗事件が発生した。強盗犯5人組が銀行に侵入し、ATM機内の現金を充填中の警備員をけん銃で襲い、その後応戦した警備員と銃撃戦となり、胸部に銃弾を受けた警備員1名が重体、犯人は逃走した。

(11) 6月6日(木)23時30分頃、第5州(バルパライソ州)キンテロ市において強盗殺人事件が発生した。強盗犯4人組が民家に侵入し、けん銃で家人を脅したが、これに家人がけん銃で抵抗し銃撃戦となった。強盗犯2名及び36歳の被害者方長男が死亡、その他の犯人は逃走したが、後刻19歳の強盗犯が負傷したことで病院に駆け込んだ。

(12) 6月17日(月)9時30分頃、サンティアゴ市プダウエル区に所在の銀行において銀行強盗事件が発生した。強盗犯4人組が機関銃や手榴弾等を所持して押し入り、行員や来客等を脅して約5千万ペソ等を奪って逃走したが、外で待ち構えていた警察と銃撃戦になり、3名が逮捕、1名が逃走したものの。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 5月15日(水)8時頃、第5州(バルパライソ州)ビニャ・デル・マル市において爆弾事件が発生した。モール付近の自転車店前に仕掛けられた音響爆弾が爆発したもの。負傷者等は無し。

(2) 5月20日(月)8時頃、サンティアゴ市サンティアゴ区に所在の刑務官訓練所前路上において爆弾事件が発生した。燃料が入った容器が2個、ガスが入ったシリンダー2本が時限装置付きで設置され、30分後に爆発するよう仕掛けられていた。爆発物処理班が出動し、同爆弾の爆破システムを解除した。

(3) 6月19日(水)12時頃、第7州(マウレ州)タルカ市に所在の大学において、爆弾事件が発生した。同大学の図書館に設置された音響爆弾が爆発し、付近にいた学生が聴覚障害を訴えた。

#### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

4月25日（木）午後，サンティアゴ市内において誘拐事件が発生した。27歳のモデルが60歳の男性に誘拐され，3日間監禁し，薬物を投与され，性的被害を受ける等したが，隙を見て脱出，犯人は逮捕された。

#### 5 対日感情

特段の動向はないものの，引き続き我が国捕鯨調査に対する抗議行動を受ける可能性が十分にある。

#### 6 邦人被害

（1）4月2日（火）在留邦人がスキミングの被害に遭い，身に覚えの無い19万ペソを引き出された。3月下旬頃にサンティアゴ市内のモールでカードを使用した際にスキミングされたものと思料される。

（2）4月6日（土）未明，サンティアゴ市ビタクラ区の路上において，在留邦人が車両を路上駐車して離れた間，当該車両が盗まれ，4日後に発見された。

（3）4月16日（火）14時頃，サンティアゴ市プダウエル区に所在のモール内のレストランにおいて邦人出張者が知人と食事中，背もたれに掛けていたスーツ上着の内ポケットに入れていた財布を盗まれ，更に財布内のカードを不正に使用された。

（4）4月28日（日）15時頃，第5州（バルパライソ州）バルパライソ市の路上において，在留邦人が運転中の車がパンクしたことに気付いたことから，タイヤ交換をしていたところ，見知らぬ男が近付き，手伝う振りをして注意を逸らしている隙に，別の共犯者が車内から旅券，身分証明書等在中のバッグ2個を盗まれた。

（5）4月30日（火）午後，サンティアゴ市内のバスで在留邦人が移動中，ズボンの前ポケットに入れていた身分証明書，カード類等在中の財布をスリ盗られた。

（6）5月18日（土）14時頃，サンティアゴ市プロビデンシア区に所在のショッピングモールにおいて在留邦人が買い物を終え，駐車場に駐車中の車両に荷物を積載していたところ，見知らぬ女性に声を掛けられ，これに対応している間，同人の妻が子供を後部座席のチャイルドシートに乗せていた時，男が後部座席足下に置いていた現金を盗んで逃走した。

（7）6月2日（日）在留邦人がスキミングの被害に遭い，身に覚えの無い20万ペソを引き出された。6月上旬頃にサンティアゴ市内のレストランでカードを使用した際にスキミングされたものと思料される。

（8）6月12日（水）20時頃，第5州（バルパライソ州）イースター島において，邦人旅行者が宿泊先の食堂で夕食を食べていたところ，部屋に置いていた旅券，現金，各種カード等在中の鞆2個を盗まれた。

(9) 6月14日(金) 14時半頃, サンティアゴ市ラス・コンデス区において, 在留邦人がタクシー詐欺被害に遭った。ビタクラ区からラス・コンデス区の間乗車し, 通常数千ペソの乗車賃のところ, 15,000ペソの不当な乗車賃の請求を受け, 更に手渡した1万ペソ札を運転手が千ペソ札にすり替え, 「これ千ペソだよ」と言って突き返し, 追加で1万ペソを支払わされた。

(10) 6月25日(火) 20時頃, 第5州(バルパライソ州) イースター島において, 邦人旅行者が宿泊先の食堂で夕食を食べていたところ, 何者かが部屋の窓を割って侵入し, 旅券, 現金, 各種カード等在中の鞆を盗まれた。